

PRESS RELEASE

ガルーダ・インドネシア航空 プレスリリース

2012年12月28日

ガルーダ・インドネシア航空 エティハド航空とのコードシェア提携を開始

TYOGA-29-DECEMBER/12

ガルーダ・インドネシア航空会社(本社:ジャカルタ、インドネシア 社長兼最高経営責任者:エミルシャ・サタル)は、2012年10月18日、エティハド航空とのコードシェア提携に関する契約を締結し、2012年10月28日以降、世界50ヶ国、80都市へネットワークを拡大いたしました。

本提携によりガルーダ・インドネシア航空は、エティハド航空が運航する27路線をコードシェア便として販売しております。該当都市は以下の通りです。

ヨーロッパ:

パリ、ロンドン、フランクフルト、ミラノ、ミュンヘン、マンチェスター、ダブリン、デュッセルドルフ、ジュネーブ、ブリュッセル、アテネ

北米:

ニューヨーク、トロント、シカゴ

ロシア:

ドモデドボ

アフリカ:

カイロ、ヨハネスブルグ、ナイロビ

中東:

ジェッダ、マスカット、ダンマム、リヤド、アンマン、イスタンブール、バーレーン、クウェート、バイルート

また、ガルーダ・インドネシア航空が運航する、ジャカルタークアラランプール、ジャカルターアブダビ、そしてジャカルターインドネシア主要都市(スラバヤ、デンパサール、マナド、マカッサル、バリクパパンなど)路線が、コードシェア便としてエティハド航空にて販売されています。

ガルーダ・インドネシア航空は、今後もお客様の利便性向上を図るため、より便利で快適なサービスを提供してまいります。



ガルーダ・インドネシア航空会社について:

ガルーダ・インドネシア航空は、1949年設立のインドネシアを代表する航空会社。日本就航は1962年3月。今年日本就航50周年を迎えた。2012年7月にはイギリスの格付け会社スカイトラックス社より、「The World's Best Regional Airline」「The Best Regional Airline in Asia」を受賞。また、オーストラリアの調査会社、ロイ・モーガン社の顧客満足度調査にて「Best International Airline」を1月・2月・7月と3度受賞。現在新規材の購入を進めており、2012年末までに保有機体数は105機、平均機体年齢は5.8年となる予定。また、2015年までには保有機体数は194機に、さらなる平均機体年齢の引き下げ、そしてスカイトラックスの5スター認定獲得を目標にしている。